

	頁
目次	
口絵	
序	
凡例	
総合解説	1
第一章 名古屋と熱田	13
第一節 名古屋の町人地とインフラ整備	14
町の成り立ち／堀川と名古屋／都市の公共性／家並と家並図	
第二節 名古屋の町制と住民生活	43
町の制度と機構／都市の変化と住民生活／借家と家守	
第三節 熱田と宮	77
門前町熱田と周辺村／町の制度と機構／熱田に暮らす人々	
第二章 村と地域	109
第一節 村の運営	110
村の成り立ち／村の政治／村の財政	
第二節 村と百姓の負担	137
年貢と諸役銀／先納金と調達金／村役	
第三節 城下と周辺村々	163
町のひろがりへの対応／町・村にひろがる名古屋新田／ 地域の諸問題への対応／地域指導層の記録	
第三章 新田と山・川	199
第一節 新田	200
新田開発／新田村落／新田経営	
第二節 山林	221
定納山・御林／山の管理／植田山	
第三節 河川	238
河川／河川の管理／杵・橋	
第四節 用排水	259
用水と排水／雨池／井領米／井筋・井組／用水をめぐる争い	
第四章 経済	275
第一節 生業	276
農業・漁業・塩業／特産物の生産と販売	
第二節 商人と株仲間	293
商人の由緒と系譜／株仲間の組織と運営	
第三節 商家経営	299
店則と奉公人／商家の帳簿	
第四節 市場と商取引	312
運上金／魚と野菜／炭薪と肥料／酒造と尾州糠／木綿と繰綿	

第五節 物価と金融	345
物価／金融	
第五章 交通	361
第一節 陸上交通	362
東海道／名古屋と脇往還／中馬と信州／飛脚・定宿講	
第二節 水上交通	394
熱田湊と河川水運／廻船と伊勢湾海運	
第六章 寺院と神社	421
第一節 寺社の組織と運営	422
本末関係／神職の仲間／尼・堂守	
第二節 地域社会と寺社	451
信仰と祈願／寺社領等の経営／広域的な信仰	
第三節 熱田社	477
神職の活動／社僧の活動／熱田と結ぶ諸社	
第七章 生活	507
第一節 家	508
由緒と家格／家の相続／家の記録	
第二節 家族	541
冠婚葬祭と通過儀礼／家族のあり方	
第三節 暮らし	555
家作と家財／日々の暮らし	
第八章 社会	589
第一節 身分と諸集団	590
さまざまな身分／諸集団	
第二節 社会の秩序と変容	605
社会の成り立ち／社会の諸相	
第三節 災害	626
地震／風水害／飢饉	
第四節 幕末の世相	659
政局と地域／増加する負担／人心の動揺	
第九章 文化	685
第一節 学習とたしなみ	686
学びの場／諸芸／読書のひろがり	
第二節 俳諧にみる地域	709
第三節 医療	717
第四節 祭礼と民俗	721
祭礼／農耕儀礼／町・村の民俗	
第五節 文化の交流	744
名古屋のにぎわい／人・モノの交流	

第十章 鳴海	773
第一節 鳴海代官所と地域	774
鳴海代官所／鳴海村の様相	
第二節 鳴海の交通と産業	808
鳴海宿と東海道／鳴海の産業と経済	
第三節 鳴海の祭礼と文化	832
鳴海の祭礼と文化／鳴海俳壇	
解説	855
史料群解説	955
あとがき	975
執筆分担	977
資料提供者及び協力者	978
愛知県史編さん関係者名簿	981
掲載史料編年一覧	988